

議会だより



7/27 いきいきフェスタで羞恥心をおどる幼稚園児



◇一般質問	2~4
◇第2回定例会内容	5~6
◇請願・陳情審査結果	6
◇第1回臨時会・関連活動	7
◇議会のうごき・編集後記	8

第2回定例会

平成20年第2回定例会は、6月13日から19日までの7日間の会期で開かれた。

本定例会では、三名の議員が一般質問を行い、村長から提出された報告1件、専決処分2件、条例の改正案6件、平成20年度補正予算案3件が審議された。また、議会が行う選挙案件2件、議会に提出された陳情2件について審議された。

一般質問



鈴木新平 議員

鷹の図地区の河川 改修について

鈴木 ミャンマーにおけるサイクロンの被害、そして中国四川省の大地震、また6月

14日には宮城・岩手内陸地震と自然災害の恐ろしさを知るところです。

中島村は、災害が少ない地形であります。阿武隈川の鷹の図地区は10年前にも被害を受けましたが村では一番被害を受けやすい地区かと思えます。

村長として鷹の図地区の河川改修を国なり県に要望されているのか、また村長としてどのように考えておられるのかお尋ねいたします。



村長 一級河川阿武隈川の管理につきましては県が国より委託をうけて行っておりません。

鷹の図上流までは築堤改修済みであり今後基本的には改修計画はないこととあります。鷹の図を含めた区域については、下流の整備具合を勘案して改修してまいりたいと以前からこのような回答であります。

私は8・27水害以降国県に対し改修要望活動をしておりまして今後も続けていく所存でありますのでご支援ご協力をお願い申し上げます。

村道中島・松倉線 幅の考えは？

鈴木 県道母畑・白河線の元村バイパスの開通により中学校北側の村道中島・松倉線の交通量が多くなり地元住民は交通事故の発生を心配しております。また、この路線の沿線には中学校、役場、郵便局、幼稚園、公民館等の公共施設があるほか延長線上には農協、集荷場等もありこの道路が拡幅され役場前の信号機が普通の信号機になれば非常に便利になると思いますが村長の所信を伺いたいと思えます。



村長 一級村道中島・松倉線の今後の整備計画でありませんが、当路線は通学路として、また、県道矢吹・棚倉線と県道母畑・白河線をつなぐ重要路線でありまして、通学の安全性を確保する上からも出来るだけ早い機会に整備を図りたいと考えているところです。

しかし、右折ラインを設置しなければならず相当の事業費が予想されます。また、当地区には一部国土調査の筆界未定地区も含まれていることから慎重に対応してまいりたいと考えております。

企業誘致の具体的な取り組みは？



円谷 哲雄 議員

円谷 県内の各自治体が、
税収の安定、雇用の場の創設
促進の観点に基づき企業誘致
活動に取り組んできたところ、
特に県南地方の近隣自治体で
も幾つかの成功例が見られる
ようになりました。これらも
行政と地域住民が一体となっ
て誘致活動をしたからではな
いでしょうか。一朝一夕のう
ちに成されたわけではなく、
長年の努力の成果が今実った
ということだと思います。
村長は毎年、企業誘致は欠か
せない、積極的に取り組むと
言われてまいりましたが、ど
のような施策をもって臨んで
こられたのかをお伺いいたし
ます。

村長 村といたしましては、
これまでも村民の雇用の場、

そして自主財源の拡充を目指
し企業誘致活動を進めてきた
ところであります。しかし、
工場等の海外移転が進む中で
苦戦を強いられているのが実
情です。このため昨年は、全
国的な規模で多くの情報を得
るため、福島県企業誘致推進
協議会に加盟を致しまして参
加活動をしてまいりました。
そして、福島県東京事務所、
さらには東京中島会や各種会
合等で折に触れ中島村をアピ
ルしてまいりました。その結
果二、三話はございましたが
残念ながら実現にはいたって
おりません。今後は、これま
での経過を総括しながら、そ
の反省に立つて引き続き進め
なければならぬと考えてお
ります。
誘致にあたっての条件であり
ますが、農村工業導入区域内
での立地であれば、固定資産
税の免除等の優遇措置があり
ますし、企業立地促進法によ
る立地ですと固定資産税の3
年間の免除措置が受けられま
す。ただ、本村は誘致用の用
地は現在準備がありません。
工業団地の造成には多額の費
用を要しますし、多くの工業
団地が休眠している実態もあ
りますので本村では投資効率
の観点からオーダーメイド方

式で取り組んできたところで
あります。中島村では工業用
地が無いというのがやはり一
番弱みであろうと私は思っ
ております。今後の情勢によっ
ては、団地の造成も必要かと
考えているところです。

円谷 オーダーメイドの用
地造成をすると言われますが、
これは企業が来るようになっ
たら相手の希望を聞きながら
用地を準備する、企業が来た
なら考えると言っただけで、
全く話の順序が逆だと思いま
す。本村は新幹線の駅から遠
い、インターチェンジからも
遠い、大型自動車が楽に通れ
るアクセス道路があるわけじゃ
ない等、決して恵まれた環境
にあるとは言えません。各自
治体こそ誘致合戦を繰
り広げている状況の中で、オ
ーダーメイド等の話はなかなか
受け入れてもらえないと思
います。誘致にあたっての基本
的条件は用地の確保であり、
村有地があるならその議論か
ら入るべきではないでしょ
うか。

村長 企業の状況からしま
すと、話が途中まで来て中止
だという例も多々ございます。
そういう意味から言えば、オー

ダーメイドは古い手法だと思っ
ておりますし用地取得も必要
かなということも申し上げま
した。中島村の工業用地、衛
生処理一部事務組合で取得し
た続きに村もあるというよう
なことでも理解しておるのだ
が、組合でも手つかずのまま
になっておるのが事実であり
まして、状況が来れば、あの
活用も十分図ってまいらな
ければならないと思っております。

円谷 企業誘致は必ず手が
ければならない問題です。財
政的に余裕がないのは分か
りますが一度に全部出来る訳
ではありません。必要な分
少しづつでもこの予算は計上
されるべきではないでしょ
うか。優先順位で言うなら、ト
ップに値すると思います。い
ろいろ努力されているという
話をされますが、何をどう努
力しているのかが見えてき
ません。努力されている内容を
具体的に説明しないと、な
かなか理解できません。今、
村長が言われることは誘致に
関してすぐに取りかかれるの
は何かあるのかということだ
と思いがいかがお考えです
か。

村長 企業誘致、確かにこ
れは競ってやっておりますし、
県南地方はここにきてちよつ
と立地が出てきたというよう
なことでも県の用地であります。
それなりの土地があつたとい
うことでもなつてきました。一
時、農村工業導入法なんか
出た頃の進出、ここにもい
んな企業が来ました。立地し
ましたが、その後はぶつくり
消えているというのが現実で
あります。中島村では工業用
地がないのが一番の弱みであ
ろうと私は思っております。
前から話はちよつと来るん
ですが、恐ろしくて手をつけ
られない部分もあります。詰
めていって、表へ出せるとい
うのは、相当時間がかかるこ
とがあります。例としては幾
つか取り組んできたんですが、
実現には至らなかつたとい
うようなことがございます。

円谷 村長はいつも、村の
基幹産業である農業の振興推
進、そして企業誘致にはあら
ゆる手だてを講じる必要があ
ると言われてまいりました。
村長の話を聞いて期待してい
る村民は多いと思います。一
刻も早く誘致の具体的な話
ができることを期待しまして
質問を終わります。



水野谷 博 議員

村独自の

農業支援策は？

水野谷 地方経済が明るい兆しが見えないなか、最近の異常な原油高で、村内の産業も大きな影響を受けております。特に農業においては自分で生産した物をみずから価格設定できない弱い立場にあり生産コストだけは上昇の一途で、その経営は危機的な状況に在るといつても過言ではないと思います。

中島村の1戸当たりの農業所得の高さは、常に上位を占めており農家の皆様のご努力に対し本当に敬意を表したいとおもいます。

自然と緑豊かな村、未来に田園風景を残すべく今こそ農業に対し村独自の支援策を講じてはと思います。村長の考えをお聞きしたいと思います。

村長

農業への単独支援対策でありませんが、基本的には、村といたしまして国、県の補助事業に村の補助金を上乗せして支援して参りました。そのほかに農地流動化推進助成金、優良牛導入のための貸付金、制度資金に対する利子補給等各方面にわたって優遇措置を講じてきたところであります。

今後もそのような支援を講じていく所存であります。



産直あるいは道の駅開所の考えは？

水野谷

世界的な食料危機、輸入農産物の高騰、食料の安全安心を根底から揺るがす農薬混入食品等食に対する問題が多いなか地産地消が静かなブームになっております。村の特産品を村民に多く自給していただくと共に村活性化のため農業商業一体となった産直もしくは道の駅の必要性をどのように考えているかお尋ねいたします。

村長

村内では菜の花会が産直を営業しているほか、白河農協直売部門に出荷されている人も多数あると聞いております。

ご指摘のように食の安全・安心の面から地産地消が静かなブームを起こしており、億単位の販売実績を有する直売所も実在していると聞いております。ただし、この場合には人口集積が大きい都市圏、あるいは観光地・国道沿い等不特定多数の人々が往来する所であり、こうした先発地区に対抗するためにはそれ以上の魅力を用意した直売所でない

れば難しいのではないかと考えておりますが、生産者が主体的に取り進む場合には可能な限り支援して参りたいと考えております。



公共施設の耐震強度は大丈夫か

水野谷

中国四川省で起きた大地震、また、6月14日には岩手・宮城内陸地震が発生しました。

亡くなられた方々、怪我をしたり家が倒壊した方々に対し心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

さて、先の議会で耐震診断の結果が滑津・吉子川小学校体育館の危険度が高い、吉子川南校舎は危険性がある、中

学校体育館は危険性が低いとの報告がありました。そのほか役場本庁舎、改善センターなどその他の公共施設の耐震強度は大丈夫なのかお伺い致します。

また、先日国が新聞等で全国小・中学校13万棟ある校舎、体育館のうち危険性の高い建物が約1万棟あると発表しました。その1万棟の中に本村の建物が入っているのか、また、入っているとすればその対応策をお尋ねいたします。

村長

これは、昭和51年に発生した宮城県沖地震を教訓に昭和56年以前の建築物について進められているものです。全国の校舎・体育館のうち危険度の高い建物が約1万棟ある、村の施設もその中に入ることの質問であります。平成19年度に耐震診断を実施した結果、両小学校体育館はこれに相当することが判りました。その他の公共の建物は役場庁舎、農村環境改善センターがありますが耐震診断はまだ、未実施であります。早い機会に診断を実施して対応を進めてまいりたいと考えております。

審議された議案

審議案件は、専決処分の承認2件、条例6件、補正予算3件の合計11件を可決した。

◆専決処分の承認

◇平成19年度中島村一般会計補正予算(第7号)

予算総額に増減はなし。保育所に入所する第3子に対する保育料について、福島県が子育て支援対策の一環として所得に応じて補助することが決定したため個人負担額を減額するための補正。



◇中島村税条例の一部を改正する条例

「地方税法等の一部を改正する法律」において特定株式の譲渡所得に係る課税の特例を4月30日で廃止することに伴う改正。

◆議決された条例関係

◇中島村税条例の一部を改正する条例

「地方税法等の一部を改正する法律」に伴う改正。

◇中島村税特別措置条例の一部を改正する条例

農村地域工業等導入促進法の地区等を定める省令等の一部を改正する省令の施行に伴

い、課税免除等の適用期限を延長するもの。

◇中島村手数料徴収条例の一部を改正する条例

戸籍法及び住民基本台帳法の改正に伴う改正。

◇中島村乳幼児医療費助成に関する条例の一部を改正する条例

医療費給付の対象となる医療保険の改正に伴い、福島県の補助交付要綱にならない、所要の改正をした。

◇中島村国民健康保険条例の一部を改正する条例

地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴う所要の改正及び税率の改正

◇中島村村営住宅管理条例の一部を改正する条例

村営住宅入居者及び周辺住民の生活の安全と平穏を確保するため、村営住宅入居対象者から暴力団員を排除するための改正。

◆議決された補正予算

◇平成20年度中島村一般会計補正予算(第1号)

既定予算額に846万円を追加し、歳入歳出総額を20億4583万円と定めた。

歳入は、人工透析通院交通費県補助金に2万円追加、繰入金129万円の増額や繰越金714万円の増額など。

歳出は、徴税費では償還金利子及び割引料に900万円を増額。衛生費は、小児平日夜間救急医療事業負担金に新たに9万円計上。教育費では吉子川小学校管理費に管理備品12万円増額。学校給食費で臨時職員賃金19万円など。

◇平成20年度中島村国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

既定予算に581万円を追加し、歳入歳出予算総額を5億2400万円と定めた。

歳入は、前期高齢者交付金に581万円を増額計上した。歳出は、後期高齢者支援金等に572万円、前期高齢者納付金等に8万円を増額計上。

◇平成20年度中島村老人保健特別会計補正予算(第1号)

既定予算に、1125万円を追加し、歳入歳出予算総額を5102万円と定めた。

歳入は、繰越金に1125万円を増額計上した。歳出は、医療諸費に56万円、諸支出金1068万円をそれぞれ増額計上した。

傍聴においでください!

9月定例議会は

9月中旬 開会予定

です

選挙管理委員 会委員及び同 補充員の選挙

中島村選挙管理委員会委員及び同補充員が平成20年6月30日で任期満了することに伴い、同委員の選挙が、地方自治法第118条第2項の規定に基づき指名推薦により行われた。選挙管理委員会委員に塩田浩司氏、小松平二氏、佐藤恒雄氏、浅野信吉氏が、同補充員には大竹正明氏、向井勝男氏、吉田正国氏、水野谷清氏が選任された。

請願・陳情 審査結果

総務教育常任委員会

委員長 加藤幸一

※審査に当たった委員

提出者 加藤 幸一
賛成者 水野谷 博
" 藤田 利春



★保険でより良い歯科医療の実現を求める意見書提出の陳情

提出者

福島県保険医協会

理事長 酒井 学

◎趣旨

多くの国民は歯科医療について保険の利く範囲の拡大と自己負担の軽減を求めているが、歯科診療報酬が抑制されている。さらに、歯科診療報酬が低く抑えられていること

から歯科医師等になるものが少なく、将来の歯科医療確保さえ危ぶまれる。よって、患者の窓口負担を軽減し、歯科医療従事者が良質な歯科医療を行えるよう、また、安全で普及している歯科技術を保険が利くよう歯科診療報酬の改善を求める陳情。

◎審査の結果 採択

★義務教育費国庫負担制度の堅持と教育予算の充実を求める意見書提出の陳情

提出者

福島県教職員組合西白河支部
支部長 深谷 拓男

◎趣旨

義務教育費国庫負担制度は、国民が教育を受ける権利を保障するため、国が全額負担し、教育の機会均等とその水準維持向上を図ることを目的として制定された。しかし、現在制度に残っているのは教職員の給与費だけとなり、国の負担割合が3分の1に大幅削減され、地方は大きな負担を強いられている。自治体の財政力や保護者の経済力の違いに

よって子どもたちが受ける教育水準に格差のない、教育の機会均等が保障されなければならない。このことから、国庫負担率の2分の1への復元を含めた制度の堅持と、教育予算拡充を求める陳情。

◎審査の結果 採択

意見書を 関係大臣に 提出

6月定例会最終日に議員提出議案として意見書案が提出され原案のとおり可決した。可決した意見書を政府関係大臣に提出し要望した。

★保険でより良い歯科医療の実現を求める意見書

★義務教育費国庫負担制度の堅持と教育予算の充実を求める意見書

開会中の 継続審査申出

議会運営委員会(藤田利春委員長)から、会議規則第75条の規定により、次期議会の会期日程等の議会運営に関する事項及び議長との諮問に関することの申し出があり承認された。



第1回臨時議会

平成20年第1回臨時議会は7月28日会期を1日間として開催された。

審議された議案は、条例の改正案4件、平成20年度補正予算1件の5件が審議され、議案は全て原案のとおり可決され、閉会した。

◆議決された条例

◇中島村議会政務調査費の交付に関する条例

地方自治法では議員報酬が他の委員報酬と同列に規定されていたものが今回別格の取り扱いとする改正が行われたことに伴い、村条例の議員報酬に関する部分を「報酬」から「議員報酬」とする条例改正が行われた。

◇中島村別職報酬等審議会条例

改正理由前と同じ

◇議会議員の報酬・期末手当及び費用弁償に関する条例

改正理由前と同じ

◇議会議員の報酬の特例に関する条例

改正理由前と同じ

◆議決された補正予算

◇平成20年度一般会計補正予算(第2号)

既定予算額に741万円を追加し歳入歳出予算総額を2億5324万円と定めた。

歳入の主なものは、繰越金に741万円を増額計上された。歳出の主なものは、教育費の社会教育費に741万円を計上した。内容は、旧公民館の天井裏にアスベストが使用されていたことが分かり文化複合施設屋外整備工事費を増額する補正。

議会関連活動

八王子市市議会OMソーラーシステム施設の視察に来る

5月21日八王子市議会の都市環境委員会視察団11名一行は、中島村幼稚園のOMソーラーシステム施設を研究するため本村を訪れた。



一行は、環境に配慮した同施設を研究し、地球温暖化対策に向けた八王子市の市政に反映させたいとのことでありました。また、視察団の皆さんは、OMソーラーシステムに関心したばかりでなく、幼稚園舎が子供たちにとってよい環境で、立派なことにも驚いていました。



議員研修会「輝ら里」で開催される

去る7月8日に本村生涯学習センター「輝ら里」において西白河地方町村議会議員研修会が開催された。

研修会は、主催者である西白河地方町村議会議長会会長の岡部英夫氏(泉崎)のあいさつの後自治功労者2名の表

彰が行われた。

来賓祝辞として県南振興局長及町村会会長あいさつにつき中島村村長の小室康彦氏も開催市町村長として歓迎のあいさつを行った。

研修会は東白川郡の議員も参加し約120名の地域議員が集って盛会に行われた。内容は、東京大学教授の大森彌氏による「分権改革と町村のゆくえ」と題した講演で、人口減少に伴い国は地方自治の合理化を図ろうとしている。このまま行くと小さな町村は地域の思うような自治活動ができなくなる恐れがあるので、地方議会は地域発展のため企画立案を積極的に行い地方を活性化してほしいとの講演でした。



折笠議長 自治功労特別 賞を受賞



中島村議会議長の折笠三吉氏は、村議会議員として20年以上の長きにわたり、郷土発展に尽力し、地方自治の振興に貢献したことが認められ6月3日に開催された福島県町村議会議長会総会の席上同会長から「自治特別功労者」として表彰されました。

徳島県佐那河内村 視察のため、 中島村に来村

7月31日徳島県佐那河内村議会の視察団12名は中島村の

集落排水処理事業の管理についての視察のため来村した。一行は役場会議室において村の概要と集排の管理運営状況について係員から説明を受けたあと管理に関する質問を熱心に行った。また、本村議

会議員全員と活発な意見交換を行いました。佐那河内村でも集落排水事業を実施して十数年を経過することから改修について検討するため本村に視察に来ました。

月日	事項
5月5日	・第7回とうろく君祭り
21日	・中島村老人クラブ連合会総会
16日	・中島村商工会総会
20~21日	・全国町村議長・副議長研修会
21日	・八王子市議会(都市環境常任委員会)行政視察研修
23日	・交通安全防火パレード(滑津小)
27日	・第59回植樹祭
28日	・あぶくま高原道路整備促進期成同盟会
6月3日	・福島県議会議長会総会
6日	・議会全員協議会
〃日	・議会運営委員会
13~19日	・6月定例議会
22日	・福島県消防協会白河支部幹部大会
29日	・西白河地方議会議員ゴルフ大会
7月1日	・白河地方広域市町村圏整備組合市町村長代表議長会議
8日	・西白河地方町村議会議員研修会
13日	・福島県消防操法白河支部大会
18日	・白河地方広域市町村圏整備組合議会臨時会
23日	・棚倉矢吹線整備促進期成同盟総会
28日	・臨時議会
31日	・徳島県佐那河内村議会行政視察研修

議会の日々



編集後記

第13回中島村いきいきフェスタも天気に恵まれ、盛大に開催されました。陰で祭りを支えられた役員の皆様にご心から御礼を申し上げます。

村内はもちろん村外の車も数多く見られ近隣町村の皆様も楽しみにしているように思われます。

北海道洞爺湖サミットも開幕し話題は北京オリンピックに移り毎日テレビ、新聞等で報道されています。北京オリンピックが無事盛大に行われることを願うものです。

さて本村に目を向けて見ますと学習センター「輝ち里」のオープン、中体連でのソフト、男子バレー、卓球の県大会出場と勉強にスポーツに頑張っている知らせて大変喜ばしく思っています。

私たち新人議員三人は今回第二回定例議会において一般質問を行いました。私達は村民の代弁者として「中島村に住んで良かった」と言われるように、常に村民の人達又、地域の方々のお話を聞き、豊かで活力のある村づくりに頑張りたいと思っております。

(鈴木)